



■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

[使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)]

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)広島市中区加古町 新築工事	階数	15
建設地	広島県広島市中区加古町14-4	構造	RC造
用途地域	商業地域	平均居住人員	0 人
地域区分	6地域	年間使用時間	0 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2028年7月 予定	評価の実施日	2025年7月18日
敷地面積	302 m ²	作成者	
建築面積	164 m ²	確認日	
延床面積	2,062 m ²	確認者	

外観パース等

図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 0.7 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★ 環境品質 G 環境負荷 L	標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記②以外の ④上記+ このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質 Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.8	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.6	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 1.3
LR 環境負荷低減性 LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.9	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.4	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.0

3 広島市の重点項目		
重点項目の総平均スコア= 3.0		
「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア= 3.5	スコア= 1.0	スコア= 3.0
設計の計画段階に配慮した事項 熱橋補強を施している // 熱効率の高い設備機器を採用、階高を高めにし設備の更新性に配慮 // 熱効率の高い設備機器を採用	設計の計画段階に配慮した事項 /	設計の計画段階に配慮した事項 /

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される